

理数アカデミー 合同修了式

3月13日(日)、理数アカデミーの13回目の合同修了式が、コロナ禍のため、リモートによるオンライン形式で行われました。教育プラザには、日立市教育委員会関係者、東大ジュニアドクター育成塾関係者、日立理科クラブ理数アカデミー関係者の皆さんが集まり、受講生との中継をつないで進行しました。

折笠教育長からの祝辞では「全国各地からリモート参加も含め、これまで最多の128名の受講生が熱心に理数アカデミーの活動をしたことをとてもうれしく思います。… 皆さんが、それぞれの夢や目標に向かって歩み続け、活躍されることを期待しています。…」と受講生へメッセージを送り、保護者の皆様には「本市では、“**教育は日立市で**”というスローガンを掲げ、“**学ぶ 夢みる そして輝く**”を基本目標にして、子どもたちの持つ良さと可能性を伸ばす教育を推進してまいります。」と、日立市の教育へのご支援・ご協力をお願いしていました。



理数アカデミーの修了証授与

畑山副代表からは、今年一年間の理数アカデミーが、コロナ禍の中、困難な課題にも負けずに理数アカデミー担当が一丸となって活動できたことを強く述べていました。

助川中2年の受講生が謝辞として、学校では体験できない内容の授業や、多くの法則を用いて計算したり考えたりすることの面白さ、リモート参加でのZoom授業、貴重な体験の特別授業のことなどについての思いを伝えていました。最後に、理数アカデミーで学んだことをこれからの自分の将来に生かしたいと力強く述べていました。

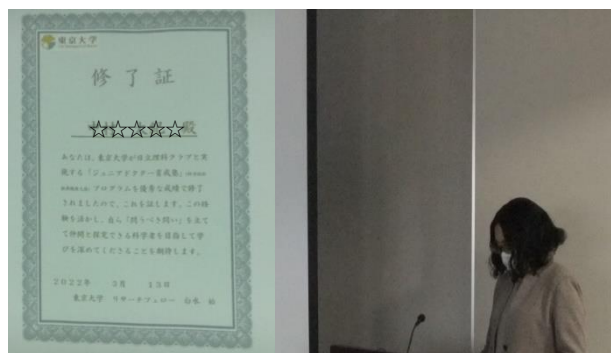
各コースの代表(鈴置・宮寺・金丸)講師から、一年間の活動の様子、オンラインによるZoom授業の工夫や課題などについて、

理数アカデミーの総括が述べられました。また、初めて理数アカデミー卒業生9名の参加によるキャリア学習会の成果や、受講生の出席状況や特別賞の報告があり、それぞれの受賞代表の受講生が、オンラインの中で授与されました。ジュニアドクター育成塾の活動については、東京大学の堀先生から、アクティブラーニングの学習に慣れて、受講生たちの話し合い活動が活発になってきたことや、難易度の高い課題に対して、考えて解決していこうとする意欲が伺えたことなどの評価がありました。

今年度もコロナ禍のため、通常授業が休校となった月があるため、修了式を挟んで、午前・午後に通常授業と短縮授業を実施しました。受講生たちはへは、理数アカデミーの活動の様子や自由研究の論文などが収まっているDVDや修了証・特別賞などを郵送で送ることをお知らせし、教育プラザに参列した関係者から、オンライン参加の受講生に向かって大きな拍手が送られ、修了式が終わりました。

受講生の皆さんが、学びの大切さ、不思議と思うことへの粘り強い追求を通して、将来に向かっての成長の糧になることを願っています。

令和4年度、多くの受講生の参加を期待しています。**がんばれ!!未来の小さな科学者!!**



ジュニアドクター育成塾の修了証授与